

平成29年度第2回図書館協議会 記録

日時 : 平成30年2月9日(金)

場所 : 松原図書館2階集会

出席者 : 図書館協議会委員 6名

事務局 : 5名

(事務局) 本日は3名の委員の方が欠席です。この会議については傍聴席を設けています。注意事項について厳守をお願いします。今日の会議については録音させていただいて後日会議録を作りたいと思っています。それではまず初めにお配りしている資料の確認をさせていただきます。全部で4種類お配りしています。本日の次第が1枚「松原市新図書館建設事業における設計及び施工者選定に係る公募型プロポーザルの選定結果について」これが裏表で1枚。「平成29年度小学1年生向けオリエンテーション実施状況」が2枚。それから委員から資料があります。

(委員) 今度図書館についての講演会を講師をお迎えし、大阪市立中央図書館で行います。どなたでも参加可能ですので、どんな図書館がいいのかとかお話ししていただければ参考になると思います。ご案内させていただきました。是非よろしくをお願いします。

(事務局) 最後に新図書館のイメージ図が写真2枚と図面が4枚ホッチキスで止めたものをお配りしています。足りない資料がある方はいらっしゃらないでしょうか。それでは、いつもですと会長に会の進行をお願いしているのですが、今日は欠席ということですので、〇〇委員に代わりに進行をお願いしたいと思います。宜しいでしょうか。それでは、よろしくをお願いします。

(司会者) 今日は以下次第に従って進めて行きたいと思います。まず報告の1点目「新図書館建設事業に関わる事業者選定について」です。事務局より説明をお願いします。

(事務局) 先ほどの資料の2枚目を見てください。1番の経過の方から順に進めて行きたいと思います。公告を平成29年8月3日に行いました。それから建設予定地になる現地調査に7社来られまして、実施要領等の配布については8社来ました。8社に対して質疑が98項目ありまして、プロポーザルの参加申請については4者、その内訳として設計施工共同体が3者と単独で1者。次の参加資格は全て満たしていましたので、参加資格確認通知は4者全てに送りました。続きまして、技術提案書の提出についても4者全てありまして、4者のプレゼンテーション及びヒアリングを実施したのが去年の12月5日と9日に実施しました。4者全て見させていただいて、選定結果の通知を12月15日に送らせてもらいました。次の2番の方はその選定結果ですけれど、優先交渉権者となりましたのが、提案事業者が鴻池組とマル・アーキテクチャの設計施工共同体となりました。こちらについての提案価格が税別で13億5千万円、評定値の合計が700満点中605点。続いて3番、今回4者あった提案事業者の名前を順に読みますと、鴻池組マル・アーキテクチャの設計施工共同体、大和リース株式会社大阪本店、村本建設・阿波設計の設計施工共同体、山本工務店・山本建築設計事務所の設計施工共同体。4番、提案事業者の評定値合計は合計700点満点の最高が605点5

6 2点4 9 2点4 4 3点となっています。続きまして最後になりますが、5番、主な選定理由は施工計画や工期短縮にかかる具体的な方法が優れていたこと。親水公園などとの一体性の提案が優れていたこと。イニシャルコスト及びランニングコストを低減できる提案がされていたことが選定理由となっております。以上です。

(司会者) それでは、各委員からの質疑をよろしくお願ひします。

(委員) これは誰が選定を、市だけがしたんですか？

(事務局) こちらの方は選定委員がありまして、全員で10人、6人が内部委員、そして学識経験者等で4名、学識経験者というのは図書館学・土木関係・都市計画デザインの部分で選定していただく委員の方と、読み聞かせをする団体の委員さん1名とで選定させていただきました。

(司会者) 他いかがでしょうか

(委員) 700点満点の605点と562点の差は何だったんでしょうか。具体的な例を

(事務局) 全体評価として、価格2割、700点満点中140点が価格です。価格が一番安いところが140点満点。それで点数を割り戻して行って配分するということと、後は提案内容。前に模型図あるんですが、池ですから池の水をいったん抜いて直接そこから造成をしないとイケないんです。下の池底から建てて行く方法、それで工期短縮をするような提案をされた。親水公園と一体性を図るために屋上庭園を設ける。建物の周りに水を対流させながらというもの。他の提案について中身は詳しく言えないですけど、造成するのに数カ月かかる、土を運んだりという色々な提案があったんですけど、そういう中で選定委員さんが見られて、この提案が一番いいということで選ばれたということ。価格面が2割、設計とか施工の状態というので加点の項目を設け選んでいただいたということです。

(司会者) 他にはいかがでしょう・・・

(事務局) 後ほど中身の件もあるので、とりあえず進めていただいたら

(司会者) 以下でまたお気づきの点ございましたらご質問いただければと思います。

それでは2点目平成29年度学校連携の報告について事務局より説明お願ひします。

(学校との連携担当) 学校との連携の活動について、お話しさせていただきたいと思ひますよろしくお願ひいたします。資料として、2枚お配りさせていただきました。活動の内容を簡単にまとめた表のある1枚ともう1点は「本は友だち」というタイトルが載っているリストです。これは1学期学校訪問をした際に生徒全員に配布した絵本の紹介リストです。こちらはまたよかったら見て下さい。前回の集まりでも少し報告があったと思ひますが、学校との連携協力委員会の今年度の活動の一つとして、小学校1年生への学校訪問を行っています。1回目の訪問は前回に報告させていただきましたので、簡単に説明させていただきます。図書館では小学校との連携を持ち今後の活動に活かしていきたいと思ひから校長先生を通じて、おはなしをさせていただいて1学期6月に天美北小学校、天美南小学校松原西小学校の3校に簡単な図書館の説明を兼ねたオリエンテーションに本の紹介を加えた形で行いました。実際には各校1クラスずつ計6回行いました。まず図書館の歴史、歩みをお話ししてそのあと教科書の上巻に載っている本を現物を見せながら中身も少し読みながら紹介を15冊程度行いました。そのあと図書館でも人気の本を3冊紹介しました。そのあと「自分で読むのも楽しいけれど読んでもらうのも楽しいよ」ということで普通サイズの絵本を2冊と大型絵本1冊を読みました。2学期は1学期

に交流をもてた3校との連携を絶やさず続けて行きたいとの思いから、1学期訪問した3校のそれぞれの先生と打ち合わせをして、先生の希望も伺いながらそれぞれの学校に合わせたオリエンテーションを行いました。2回目なので1学期より子どもたちと一緒に楽しめる内容を盛り込んだプログラムを設定をしました。松原西小学校に11月30日木曜日、コンピュータ室を利用して行いました。当日のプログラムを事前に教えてほしいという先生からの要望がありましたので、その内容を先生にファックスし、それをもとに相談しこちらで用意したプログラムで特に変更もなく行いました。本の貸出の希望もあったので、1クラス22名だったので、×2冊位用意していただけたら、ということで、50冊持っていきました。12月1日金曜日には天美北小学校こちらは2クラスで、各教室で行いました。こちらは先生との事前の打ち合わせの中で子どもたち同士で本を読む時間と読んだ本の感想を発表する時間を持ちたいということだったので、最初に図書館が用意したパネルシアターを行ってそのあと教科書の下巻に出てくる本を9冊ほど紹介しました。その最初の10分から15分くらいを図書館が担当しそのあと先生を中心に図書館から持って行った団体貸出用の本を使って子どもたち同士でグループで本を読みあい最後に児童たちがそれぞれ感想などを言い合う、という形でした。各クラスで図書館の紹介の後で時間の使い方がちがってしまっていて、もう一クラスは保護者の方2人による読み聞かせの実演もありました。本の貸出希望もあり2クラスで100冊。最後に12月8日の金曜日に天美南小学校、こちらもコンピュータ室で行いましたが、こちらは特に変更もなく図書館の用意したプログラムで行いました。感想ですけれども、1回目は聞くことが中心だったのと、こちらで用意したプログラムがちょっと長くて途中、生徒の集中力が持たないところも見受けられたけれども、後半は絵本の読み聞かせや、普段見ない大きなサイズの絵本だったのでとても喜んでくれていたと思います。2回目は先ほども言いましたように一緒に遊ぶことを中心としたプログラム、ペープサートと絵本の読み聞かせがあったこともあって大いに盛り上がってくれて、特にペープサートは初めて体験をする児童も多かったようで予想以上に楽しんでくれていました。今後もしできれば学校や先生方と協力して図書館でできることを実践して行きたいと思っています。また、小学校だけでなくその活動交流の場を広げるための試みとして、この2月27日火曜日に四つ葉幼稚園を訪問する予定です。今先生と相談中です。よろしくをお願いします。

(司会者) それでは質問等ございましたらよろしくお願ひいたします。

(委員) 小学校に100冊ほど持って行って、貸出して返却はどういう形ですか。

(担当者) その次の2回目に行くまでに返却してくれた学校もあればこちらが2回目100冊持って行ったときに前回持って行った100冊を引き取って来るといった交換みたいなそういう学校もありました。

(委員) 特に期限があるとかいうことでは・・

(担当者) 団体貸出は期間最長6カ月にしていますが、大体学校は学期ごとで返却して交換されることが多いですね。行かせていただいたのも1学期と2学期だったので、ちょうど交換という形で行うことが多かったです。

(委員) もし1学期とか2学期とかがない場合は100冊借りたら本当は自分で返しに行かないといけないのですか

(事務局) 基本はそうですが、こちらの方が出前講座的にやっているの、その部分についてはやっ

る、ということです。ただ一般に松原市内15校ありますから、その体制は正直とれていないので、クラス図書で借りられる先生のところまでは現実的にむづかしいかなと。

(委員) 今3校ほどだったんですけれど、これは全部の学校をまわるというのではなく、向こうから要請があったら行くという形ですか。

(事務局) 今回学校連携のところ、学校と幼稚園の方からお話しがあったので、今年度取り組んだ。幼稚園は今まで行ってなかったですからね。

(委員) 図書室のお話しも出たんですけれど、先ほど聞いていたら全然図書室を使っておられなかったのですが、終わってからでも図書室は覗きに行ったりとかされましたか？

(担当者) 天美北小は図書室の改装に携わったので、図書室のお手伝いをしに行った経験があります。天美南小は図書室を覗きました。松原西小は覗けてないです。

(委員) 私は松原小学校の図書ボランティアに行っているんですけどそれぞれの学校によってやり方が違うと思うので、せっかく図書館の人が行って下さるなら、それぞれの図書室を見てもらってこんな風にした方がいいとかアドバイスをぜひいただきたいな、と思います。もし図書ボランティアさんがいる時に行けたら、そういうアドバイスをして帰られたらもっと図書室が良くなると思うのでぜひお願いします。

(事務局) ご意見いただいておりますが、これは学校側と図書館側が連携していかないといけないことかと思えます。今日残念ながら中学校の校長先生と小学校の校長先生が来られてないので、その辺のことについては連携を図っていく、どうしていったら連携できるか、また協議会の場で話すか、別の機会にも話していきたいと思えます。

(担当者) 補足ですが、松原西小は今回は図書室を覗くということをしてないので、去年度図書室をお借りして学校オリエンテーションみたいなことをしましたので、そこで図書室で図書委員の生徒や先生とかかわりを持つということはしました。

(委員) PTA が学校に入って行って読み聞かせとかをやっているということはないのですか。

(事務局) 各校やり方はまちまち。ボランティアで入ってきている小学校もあれば、PTAの引継ぎの中でずっと携わっているかたもいらしゃるので、その違いはあるかなと思えます。子どもが卒業してもずっと今でもやられてる方もいらっしゃるそうです。

担当者退席

(司会者) 次の案件に移りたいと思えます。事務局からお願いします。

(事務局) 12月にプロポーザルという形で2回プレゼンテーションを各社していただいて、事業者が12月に決定しています。その中で優先交渉権者として決定した鴻池組とマル・アーキテクチャの設計施工共同体の提案内容の模型がこちらにあります。これを担当が分解してご説明した後で、議題として何項目か皆さんにご意見いただきたい項目があるので、まず見ていただいたらと思うので、立って見ていただくのも結構ですし、図面を見ながらというのもわかりやすいので、近くに寄っていただいても結構です。自席でも。配っているカラーの用紙を見ながらの方がわかりやすいと思えます。

(事務局) 今回の建物構造が地下1階地上3階と屋上とあります。地下は機械室の他何もありませんけれど、入り口がココ、現在の図書館はココです。最初1階から。1階には一般開架、今回は1階と3階を分けて開架エリアにしています。1階は一般の静かなエリアというイメージです。3

階の方は児童のエリア、ここは多少しゃべったりできるので、賑わいのエリアという分け方をしています。1階の一般のエリアに開架スペースがありまして、後は車庫とかがあってここから階段を昇って行って、ここはブラウジングコーナーといいまして新聞とか雑誌とか読むスペースになっています。ここから廊下というか階段がありまして、ここは飲食スペース、また後で提案をいただきたいのですけれど、飲食スペースになっています。今の図書館にはないので、その隣が自習室になっています。これが2階。3階の方が児童の開架スペースになっているのですけれど、2階の開架書庫をぬかしました。書庫と職員の事務室があります。提案事業者は開架スペース・雑誌のスペースから、図面でもあるのですけれど見えるような書庫です、覗ける。作りがステップフロアといって、1階があつて中2階があつて2階があつて3階というステップフロアになっています。やはり、敷地が狭いので中を大きく見せてる、という提案です。

(委員) 真ん中が吹き抜けになっているんですね。

(事務局) そうですね、2階のこの部分が吹き抜けです。暖房は床からふわっと上がっていく、下から空気が流れるという風な提案です。これが3階なんですけれど、3階は児童エリアでこっち側が児童のエリアで、ここにボランティア室がありまして、こちらがおはなし室。くつろぎのスペースとここがおはなし室になっています。先に飲食スペースの隣に障害者サービスの録音室を設けていて、防音機能をつけた録音図書を作る部屋をここに配置しました。

(委員) すべて冷暖房どこも完備ですね。

(事務局) 床式ですので部分のところもあるかもしれないですが、そこまで確認ができていません。

大きい閲覧エリアでは床ふく射式、床に水なり温水なりを流して、だから上から出て来るエアコンはなしで、大きいところは床だけ、家庭で言うと床暖房です。あとは屋上庭園、屋上に上がっていただけるようにして、屋上で読書ができるベンチかなんかを置くような形で提案いただいています。

皆さんに考えていただきたい項目は全ては書ききれてはいないのですけれど、今回飲食スペースを設けるということがあるので、全部図書館のスペースに飲食スペースを設けるというのはどうかと思うので、どのエリアまでだったらどうか、をまず1点ご意見いただきたいのと、2点目今図書館はパソコン・タブレットの持ち込みは行けるようになっているけれど、Wi-Fi機能を付けてアクセスできるような形にしたいと思っていて、カチャカチャいう音を気にされる方もいらっしゃると思う。たとえば1階はやめておこう、2階のブラウジングとかにカウンターテーブル的な椅子のところはOK。児童はお子さんとかも結構しゃべるからパソコンを置いてもいいんじゃないか、と勝手に思っているのですけれど、皆さんはどう考えられるかをお聞きしたい。他には屋上の使い方、何か変わった使い方の提案があるのか、今自販機の設置場所は図面では2階の飲食スペースになっているのですけれど、自販機とウォータークーラーの設置場所を設ける箇所について他のフロアでも考えたら、と事業者に言ってるので、そこはちょっと調整できるかな、ということもあって、そういった提案。

提案いただいた後で、授乳室について、靴を脱いで行くようになっているのですけれど、使い勝手の問題で、小さなお子さんを相手にされている方には、その位置関係がどうなのか、色々ご意見あるかと思うのですけれど、委員の皆さんの意見はどうか、それ以外で例えば開架、ちょっと変わった書架配列になっているのですが、囲い込み式書架がテーマ書架を多く取り入れ

た提案になっているので、設計士さんはそれぞれのところで配列する、という風な提案をいただいている。それぞれの項目で、ばらけてしまっただけではないと思いますが、今言ったような内容で、皆さんには事前にお渡ししてはなかったですけど、ご意見いただいてそれが反映できる部分は反映していきたいと思っているので、司会の方よろしく願いいたします。

(司会者) それでは内容豊富ですので、どの方面からでも結構ですのでご意見をお願いします。

(委員) 外で、というのは屋上だけですか。

(事務局) 屋上とインナーテラスという形ですね、池に囲まれているので、外に出たら池に落ちてしまいますから、外というのは図面にあるようにインナーテラスか屋上です。2階も少しあります。2階の飲食ラウンジの横にあるテラスがそうです。

(委員) ある程度決まっていることなので無理かと思うけれど、建物の周りを池じゃなくて遊歩道にしてたら良かったのにな、と思います。

(事務局) 親水公園の一部のところ建てているので、水の浄化の為に水を対流させようとしています。池の水というのは一か所にとどめていたらよどむので、個々の部分と一体としてという提案もあったので、仰ってる部分もわかるんですが、そういった提案で今回返ってきている、ということなんです。

(委員) 公園と一体化するような形で、せつかくなので、外にも行けたらと思った。

(事務局) 上からのぞいていただくか、北側から覗いていただくか、屋上との調和で、という案をいただいています。

(委員) お手洗って、よく婦人トイレですが、小さい子どもを連れて行った時に子どもも使えるような、男の子の小さい便器があったりとかいうのが今デパートとかだったら、親子で入っても行けるようになっているんですけど、お手洗いはそういうおむつじゃない子どもの対応がありますか。

(事務局) 3階のボランティア室の横にあるのが、児童トイレで子ども用のトイレです。一か所だけ児童トイレを設けています。1階2階で親子でという場合は、多目的トイレを使っただけということで、3階については児童トイレを設けています。

(委員) エレベーターは？

(事務局) 提案いただいているのは2機で、一応一般用1機と職員用1機。

(委員) 本の盗難とかは大丈夫ですか？

(事務局) 今はICタグを設けていないのですが、他市ではICゲートというのがありまして、例えばTSUTAYAさんにいったら「びびっ」となるような、それはこの部分の中には入っていない。システムを回収する時にICタグ連動のシステムの導入というのを考えていることなので、本にもそれを付けて行きたい、それを予算化していきたい、建てている次の年の予算要求にはあげていこうと思っている。

(委員) 外に自由に飲食しながら雑誌とか持って行って読んでいて、そのまま持って行ってしまおう、というのもあるかな、と思う。

(事務局) 入り口出口は1階の1か所だけなので、ICゲートは予算が通ればTSUTAYAみたいに玄関につけて、ICをつけたものをそのまま持っていったらブザーが鳴る、という仕組みはつけたいと思っています。

(委員) 館内は自由に本を持って動ける、ということですか。1階の本を2階3階に持っていけるので

すか。

(事務局) はい。

(委員) 飲食スペースでも見ながらとかできるのですか

(事務局) 飲食スペースに持って行っていただいても、館内ですから大丈夫です。もとの位置に戻してもらわないといけないですけど。あとは運用の方で、それを汚した時とかこぼした時とか、弁償をどうするかってことはまた運用の方で考えて行かないといけない。

結構視察なんかに行っていると、ほとんどそういう例は少ないということなんで、ただ先ほども皆さんにお聞きしておこうと思ったことで、パンとか何かを食べながら一般書架で見られると本が汚れてしまうということがあるので、雑誌だったらいいのでは？雑誌は保存期限が短いので、雑誌架ではOKで、あとはドリンクまでだったらどこまで持っていくの？という風なことをご意見いただけたらな、と。あと授乳室が上にあるので、ちょっとしたコーヒーとかをお子さんたちのところで、お母さんが。今回3階のエリアでくつろぎスペースというところはドリンクを飲みながら雑誌を読んで、子どもたちが靴を脱いで動き回れるところで、雑誌なんかを見て、という風な提案になっていたのですけれど、それは提案に上げている以上は守っていきたいと思っているけれども、その使い勝手という部分で他のスペースにあったらどうなのか。水飲み場は飲食スペースのところでいいのか、自販機は3階に要るのか要らないのか、いうのはどう思われるのかお聞きしたい。

(司会者) 自動販売機の設置等について、ご意見をいただきたいと思います。ウォータークーラーとか自動販売機についても

(委員) 幼稚園とかの立場で言うと、食べながら見るのはアウトです。絵本を読むときは絵本を読む、食べる時は食べる、お話ししながら楽しく食べるのはいいんでしょうけれど、食べながら見るというのはひっかかります。

(事務局) お話しの部屋とかで食べながら見るのは良くない、ということですね。

(委員) 雑誌を見ながらコーヒーを飲むというのは素敵だな、というイメージはあるのですが、ただそれが小さな子どもとかになってくると、やっぱり手にもつくだろうし、ご飯粒が付いた本とかはどうか、と思います。衛生的な面もありますし、気になるな、というのは正直あります。

(委員) 確かに大学等とかでも、大学であればある程度分別ついていますから食べながらでも構わない、というところが徐々に増えてはいますけれど、小さなお子さんであればそのあたり中々線引きは難しい、何してもいいというのは少し問題があります。もしするのであればある程度年齢制限ではありませんが、ある程度小さなお子さんは飲食しながらということはできない、ただ一定の年齢を超えてくれば、可能であるということに。どのへんで線を引くかというのは難しいとは思いますが。

(委員) 子どもだったらお菓子を食べながらはダメだと思うので、3階の子どもの場所、あれは離乳食の子もいてるかもしれないし、お菓子もハイハイするくらいの子は食べる子がいるかもわからないけれど、そこのエリアはお茶飲みながらとか、ハイハイくらいの子のお菓子や離乳食くらいはいいのかな、とそこだけにして。2階の飲食ラウンジというのは、自販機だけしか置いていないのですか

(事務局) 持ち込んだお弁当とかはOKにしたいなと思っています。まだ決まってないですけど。ただゴミとかは持って帰ってもらいたいとは思っています。

(委員) その場所は館長が言ったみたいに食べたものをちゃんと持って帰るというような意識を付けられるような言葉とかが要ると思いますが、それくらいは食べてもいいかと。子どもさんについてはそれくらいの子と分けた方がいいと思う。

(委員) 良識的な範囲で。2階の飲食ラウンジはとていいと思います。大人はそこで食べて下さいと。全館 OK にするより2階に限定しておいていいと思います。3階の子どもさんはわざわざ下へ降りなくてもそこで食べられる、ということでいいと思います。

(事務局) 今図書館は学校連携で、例えば弁当を持ってきて屋上で食べてもらうのもいいかな、と勝手に思っていますけれど、学校の先生方の話を聞きながらやっていきたいと思っています。せっかく屋上に上がれるのだから何かに使いたいと、でも食べたもののゴミは持って帰ってもらいたいと思っています。勝手にこういうのは決められないのでご意見をお聞きしたい。今の3階の使い方については幼稚園の先生とか子育てに関係する活動されてる委員の中では、そういう今の提案でいいのかな、と。その方がいいですかね。それを参考にして考えていきたいと思いません。

(委員) 1点だけ、今大学等で、本学はしてないですけど、飲食自由に行っているところが増えてきている一方で、似たような苦情が上がってきているんです。匂いですね。共有エリアですので、複数の匂いがこもる。いい匂いもあれば不愉快な匂いもあって、色々な食べ物、特に冬場匂いが出るものが沢山ある。食べる所がないということで食堂ではなくて図書館で食べる、それで匂いが一時の間に「もあつ」とこもる、おそらくこういう吹き抜けであれば問題はないと思うんですけど、特定の場所でそういう匂いがこもった場合苦情が出て来るという報告を受けていますので、ちょっと扱いがむづかしいかなと思います。ただ私自身にとっては「食べながら」というのはいいと思いますので、あとは運用の仕方だと思います。

別のところから何点か教えていただきたいのですが、1点は配架の冊数はどれくらいになりますか。

(事務局) 閉架が18万以上で、開架が12万という設定にしています。正直いろんなことがあるんですけど、今松原市の所蔵冊数は約40万弱になってきています。市民の手元で3万冊くらい、満杯で言ったら30万冊以上という提案ですけど、33万冊かという状況です。

(委員) 今回かなりたくさん書棚があるわけですが、配架はどういう形で、業者委託なのかそれとも職員さんが行うのか

(事務局) 運営のことをお尋ねですか

(委員) まず最初に配架ですね。どういう形で本を配架していくのか

(事務局) それは今度の設計、まだ正式契約が4月からの契約になるのですが、提案いただいている開架計画は、先ほど触れさせていただいてる中で、ふつうにオーソドックスに配列するやり方、NDC方式で行くという提案と、例えばテーマ書架という形で、囲い込み式の提案のどちらにしていきますか、それを設計で反映していくということに。今回設計士さんは書架を含んだ設計をしていくことになっているので、それは運用面を色々アドバイスいただいた中で決定していく、ということです。

(委員) 近畿大学が最近新しい図書館を作りまして、たとえばブックディレクターの方が入ったり、図書館一括管理で、僕も実際見に行きましたが、非常にユニークです。本学の学生でもそうですが、ほとんどが表紙が見えているものしか手を出さない。冊数が非常に沢山あって全部が背表

紙だけだとおそらく利用者はなかなか手を出しにくい、それだけ図書館の良さというのはハッと見て可視的に情報が入って来るその一つが表紙だと、それは先の話になるかもしれないですが、おそらくある程度決まってからしてしまうと背表紙向けでいれるという前提であればおそらく「見せる」というのは難しくなると思います。

(事務局) 確か28年の第2回目の図書館協議会で委員が仰ってた提案で、特に児童書架はこういう置き方はだめ、こういう見せる書架、最低上の段はそういう書架にしてほしいということをお願いしています。レイアウトはこちらの方そういう風にしていかないといけないですけど、見せる書架「見せ場」を作っていくとけないし、並べ方については、司書も併せて作っていくとけないと。例えば12万開架ができるけれど、見せる書架だったら10万になっても10万の方がいいかな、と思いますので、そういうのは考えてやっていきたいと思います。

(委員) もう1点それに関連してですが、検索、これも後の問題になりますけど、検索をかけるような仕組みですね、今のような形をそのままお使いになるのですか。というのは、まだまだ動き出したところではあるんですけど、例えばタブレットなんかで検索をかけるとそちらの方で見せてしまう。例えばある一定の書架のところに行ってタブレットを開けばこういう本がありますという表紙が出るような仕組み、それであれば背表紙が並んでいてもタブレット利用者にとってはココにはこんな本があるんだという表紙がざざざと見れる、おそらく今後そんなアプリを使いながら、本を探す方が増えてくると思いますので、我々はどうしても1回作ってしまうとそれを新たに導入するのはすごく難しいですけど、やる前にしてしまえば結構コストダウンできますので、そのあたりこれは一つの意見という、今の方向性として、あげておきたいのですが、それに関連して図書館内の検索を掛けるものはパソコン、デスクトップ型、タワー型のパソコンになるのでしょうか。

(事務局) 蔵書検索ですね。一応OPACとして児童開架4台一般開架4台を考えているのですが、あと携帯端末から検索をかけるようにはしたいと思っています。最近検索システムというのが、表紙を見せるようなもの、中は見えないですけど、本のタイトルがあって表紙がある、という風になっているので新しいシステムになった時そっち側に構築できたらな、とは思っています。

(委員) これも徐々に他大学で進んでいることなんですけど、パソコンを一掃してしまって全てタブレットにしてコストダウンを図って、その分台数を増やすということにして、タブレットであればそれに特化してしまっているんで、余計な機能は入ってませんので、それだけで非常に軽くてコンパクトでところどころに置いてあるという、1台のパソコンを買うのであればタブレット3台くらい、それもリースなんかにして置けば新しいものが入ればどんどん換えていけますし。

(事務局) 参考にさせていただきます。それは持ち運びできないようになっているのですか

(委員) そうです。裏に必ずチェーンがついています。図書館で順番待ちされている方が検索したいんだけど、パッと自分のタブレットで調べる方もいればそうでない方もいて、パソコンも悪くはないんですけど、場所もかなり取りますし、先ほどカチャカチャという音のことがありましたけれど、そういうのもタブレットであればパパパッとさわられた方が。うちも徐々にそういう形でタブレットになってきています。

(事務局) そういうのは、頭になかったので参考にさせていただきます。

(事務局) さっきおっしゃってた本の前でタブレットを開いて本の表紙がずらずらと並ぶとか、そこにある本がざっと表示されるというのはどこかの大学で進んでいるのですか

(委員) いえ、まだこういうことができればいいな、という話があるだけです。おそらくうちだけではなく他大学とも話をしているので、技術的には専門じゃないのでわからないですが、専門の方にそれが実現可能かという話になってくると思います。できればそういう形が実現できないかな、というところです。

(司会者) 他はいかがですか

(事務局) いろんな提案があって、今回学習室というのがあるんですけども、学習室が全面ガラス張りという提案をいただいています、あんまりじろじろ見られたらあかんのじゃないかという意見があって、学習室が飲食スペースから見える位置にあって、みなさんなら学習室がガラス張りいいと思われるか、やっぱり若干半分くらい曇りガラスの方がいいのかというのはご意見いただきたいと思います。

ここが飲食スペースでここが学習室で、今言っているここがガラス張り、だから中が丸見えになる。それがいいのか悪いのか。

(委員) ここの学習室というのは静かに防音が効いているんですか

(事務局) 学習室も半分に分割できるようになっています。少ないときは半分、半分で運用すれば電気代が助かりますから、空調関係ははずせたらな、という思いでセパレートに。もしくは事業をふたつできたらな、というのがあって、まるっきり中身をお見せするというのは、設計者の意図があってこういうのがいいんじゃないかという提案でいただいているので、皆さんとしてはどう感じておられるか、ずっとじろじろ見られるのは嫌なのか、勉強に集中していたら気にならないという意見もあるでしょうし、どちらなのかお聞きしたい。結構見られるのが嫌がられる方もいれば、そうでもない方もいらっしゃるのでは、どうなのか、人それぞれとは思いますが。

(委員) 別に見られてもいいです。

(委員) 全く見えないという方が、何やってるかわからないから

(委員) 意外と下で学習されてる方いらっしゃるじゃないですか。夏休みとかここをオープンにされるじゃないですか、あんまり上がってこないでしょ、この方が絶対静かなのに。でも意外と下で学習されていて、学習机でやってられるけれど、あそこって勉強していたら環境悪いですよ、職員がパタパタ歩くんですよ、あそこの扉があるがためにこっちのカウンターから、ばたばたばたしてはるんです。それが私にとったらみんなイライラしないのかな、って思って。だから私は見える見えないよりはむしろ音、机のわきをばたばたばた、机が並んでるにもかかわらず、それが気になっていたから。

(事務局) 関係ないと

(委員) 私自身は意外と見えてる方が、みんな頑張ってるし、入りやすくていいのじゃないかな、と思います。他の方は手元が見えない方が意外とやりやすいと思っている方もいらっしゃるかもしれないですけど、腰高くらいにされるのがいいのじゃないかな、と思う。

(委員) 見られたくない人は奥に行くでしょ。

(委員) 子どもらはスタバでもマクドナルドとかでも勉強しているんですよ、高校生がいてるんですが別に何にも考えずにやってるみたい。私たちカフェをやっている人間からしたら、ちょうどこの辺だけずっと入れるんですよ。目線だけ。イメージはカフェカーテンを付けている感じ、ここだけで見えないから、のぞき込むかしない限りお互いに見えないので、そんな感じにやってま

すけど。

(事務局) 座った時だけ顔の位置に。

(委員) この辺から見えないから、よっぽど見ない限りはお互いに見えない、ていうのもあるかなと思います。

(委員) 建物の外側のガラスというのは、日が入ったりするので、ブラインドなりなんなりがあるのですか。

(事務局) 今回の提案は、壁に囲まれている開口率が低い、という提案です。これを開口率を上げたらという選定委員会の指摘もあったので、ちょっとは調整してくれる。本来提案の建物というのは60センチくらいの分厚い壁で密閉性が非常に高い。我々が、書架に直射日光が当たったら、本がいたむというのを書いていたら、今回提案の設計士さんは図書館を1回建てていて、自分が作った図書館に西日が入ることに対する何かをイメージされたんだと思うんですけど開口率を下げたんだと思います。ただ、まだオープンにできるスペースはある、という風に言ってます。

この模型の開いているところしか窓はないです。

それでもインナーテラスがあるので、直射日光が入って来るスペースはある。逆に広く取ってしまうと西日がまぶしくて使いにくい、ただ外から見せるのであれば開けた方がいい、ユーザーにとってはどうかという話をしました。ユーザーには西日があると使いにくいから。そこが意見分かれる所なんですけれど、市民に見せるというのであれば外から見える図書館がいい、使う側にしたら電灯が明るい方がいいのじゃないですか、その辺のせめぎ合いをしています。

(委員) 西日が入ったり、カーテンを閉めるという機会が多いんですね、明るすぎみたいな。

(事務局) 今の図書館もそうですね、カーテン閉めています。

(委員) 1点学習室についての確認なんですけど、セパレートにして、何かしらの個別学習じゃなくて、集団で使うような何かを考えておられるのですか

(事務局) 今想定しているのは、使い方の問題、こういう使い方があるというのはまだ建っていない段階であげていくんですけど、まず最初に学習するスペースですが、現在は夏休み冬休みとか、今大体20~30人、マックスで入っても40人超えるかな、一日の最高は60人なんですけれども、こんど新図書館が建った時にはそれくらいの人数が行く可能性があると思いますけれども、普段の朝方とかだったら平日の4月から夏休み前とかだったら、そこまで行かないと思う。それを全面開けるのはどうか、とかあるのと、学校との連携とかがあったときに、荷物だけ置いておくスペースかな、とは思っています。要するに小学校から見学に来られた時、もしくはこれは使い方もあるんですけど、小さな講演会くらいだったらできるのかな、ここも今年色んな講演会をやっているんですけど、私が来て3年間見ていると大体30人・40人位の講演会かな、今年は百人越えの講演会もあって立て続けでヒットしたというのもあるんですけど。30人40人位の講演会ができるかもしれない。自習室の利用が多かったら学習室ということでそちらを優先させないと、企画ものというのは今後まず答申いただいた時に見せる企画、というのがあって個人的見解で予算は取ってないですけど、なんかそういう事業展開ができる部屋がもう一つあったら面白いかなと思います。どういう方向性ができるか考えて行きたいと思います。

(委員) 学習室ということであれば、ガラス張りにして置く。これは見られる方が学習効率が上がると

いう、予備校なんかでも見える形でやっているところが多いです。大学でも自習している時って学生でも若干油断をするんで、盗難が結構起こるんですね、必要なものを置いてトイレに行ったりとか、それが可視化されていると防げるという面もあって防犯の面からもガラス張りにしておくのもひとつかな、と一方で何かしらの講演会等で使うとなった時に、やっぱり最近はほとんど。ケースでパワーポイントを使ってやりますので、その時どこに映すのかというのがいつも問題になりまして、講演会をする立場の人間からすると、全面ホワイトボードのような部屋だとパワーポイントも映せますし、書けるという、そういう大学もスペースがかなり増えては来ています。壁にぱぱぱっと書いて、そこにパワーポイントも映せる、パワーポイント映しながら書く、っていうのはある種、主流になりつつありますので、もしそういう形で利用されるのであればそういう面も作っておくとかなり汎用性があるものにはなるかなと思います。例えば今回であれば全面とはいかなくてもある一部だけそういうホワイトボードの壁にしておいたら、今後かなり使いやすくなると思います。

(事務局) 壁自体にホワイトボードを貼っておくんですね

(委員) そうですね。全面完全にホワイトボード。例えば神戸学院大学だと全面完全にホワイトボードのスペースで色んな所がミニ研究会などをやってる。大きなものできますし、個別でもできます。どう利用されるかだとは思いますが。

(司会者) その他いかがでしょうか。

(事務局) ざっと言ってしまいましたが、最後にもう1回。パソコンとかタブレットはWi-Fi機能があって、これは皆さんの同意を求めるようなことになるんですけど、先ほどのカチャカチャいう音が嫌というのがあったら、と思って我々は2階3階のエリアの所だったらいいのかなと思っているのですが、そのことについてはどうでしょうか、1階もやっぱりできたほうがいいのかお聞きしたいです。

(委員) パソコンを持ち込む人はだいぶ減っていますので、ほとんどタブレットか携帯。今学生でも自分でノートパソコンを持っている学生はほとんどいない、みんなタブレットですね。それで大学側が貸出す、どうしてもノートパソコンは高額になりますのでタブレットはそれほどでは。携帯電話でもそうですが、細かい物であればかなり安く手に入りますから

(事務局) 時代はタブレットですね

(委員) うちもそうです。大学のホームページ等も全てタブレット使用に全部切り替えて、アンケートをとるとパソコンでホームページを見ている学生はほとんどいない状況です。

(事務局) カチャカチャしないから1階でも大丈夫ですね、タブレットであれば

(委員) ホームページも作るのであればパソコンは二の次でほとんどタブレットの検索をかけられる方に移行している。うちも今回それに完全に切り替えて、新規のものはほとんどタブレットに。

(事務局) 静かに、というエリアの1階でも使える、ということですね。もし持ち込むとしたら、パソコンではなくタブレット。パソコンだったら2階とか3階に限定して、全館でWi-Fiをされる方がいいということですか

(委員) いいと思います。

(事務局) ありがとうございます。パソコンと思ってしまった自分が恥ずかしいです。学生を相手にされている委員は、そうなんです学生はタブレットなんです

(委員) タブレットだったら、インターネットにつながっているんだから、本の検索でもAmazonを見

たら、本の表紙とかは自分で検索して見れるんだから、どこかに違う機関に依頼して本の内容や表紙を出さなくても自分で見られますよね

(委員) 本そのものについてはそうですね。先ほどお話しさせていただいたのは、図書館で配架されているもので、ほとんど背表紙ベースになってきますから、そこに例えばQRコードを付けておいて、置いている本の情報を読ませるとそのタブレットでココの書架にはこんな本があります、と表紙がざざざざと出るそういう仕組みです。

(委員) どこかの図書館に行ったら本を返す時に、「ありがとうございます、そのコーナーに立てて下さい」というワゴンが置いてあって、そこは意外と皆が他の人が借りているから自分も面白いから借りてみようという形でそこに面白い本があるんじゃないかなと思って、図書館が本をなおすような台に入れて行くんです。返したらそこに借りた人が入れて行くんですよ、そしたら業務も減るし、我々も他の人が読んでるから自分も読んでみようという形でわりと人が集まってくるんです。そういうやり方っていうのも従業員一人2時間ほどは減るかなと、いいんじゃないかと思います。

(事務局) おっしゃてるのは借りられた本を返す前に置く所があるんですね、借りられてる本なので利用率が高い本のは事実ですね。それで選んでいる方も実際あることはあります。

(司会者) 他にご意見いかがでしょうか

(委員) ここの下で毎日同じようにおじさんとかおじいさんたちが毎日通っていて、毎日ほとんど寝てはるんです。あれはいったい何かなあと考えています。

(事務局) 図書館は公共施設なんで、いびきとかを聞いていたら注意するんですけど、行き場所として社会教育施設を使われているというのもあるので、実際色々なご意見いただくこともあるんですけど、大きな音とかいびきは職員も注意するようにしています、その辺はご容赦の方よろしくお願いします。

(委員) ずらっとずっと寝てはりますよ。

(事務局) たぶん寒いからとか家に居てられないからだと思いますが、そういうスペースも求められてるというのもあるかと思っています。

(委員) おそらくその点に関してはこの作りだとなかなか寝にくいのではないかと、以前の作りだとどうしても端に端によっていって寝やすい。大学もそうですけど。最近はどうも開放的になっていきますから、開放的になっていくと寝にくくなる。この作りだと椅子もこういう形になるかもしれませんが、もたれるところがなかったりして眠れなくなったりすると思います。

(事務局) 階段を椅子代わりにというところもありますね。1階のフロアであるんですけど、どこかの大学で見て参考にされたんだと思います。そういうスペースも作られると思います。

(司会者) 他はいかがでしょうか。宜しいでしょうか。では本日の会議を終了したいと思います。

(事務局) ありがとうございます。

今回いただきましたご意見は参考にさせていただきます。取り入れる所は取り入れたいと思います。ただ設計施工で提案いただいている内容なので、全ての分がそうならないところもあるんですけど、やっぱり皆さんの意見いただいた分については反映できる所は入れて、今後の図書館建設に向けて進めていきたいと思っています。次回、来年度も今後のことを含めてご相談させていただくかと思っていますけれど、今後も引き続きよろしくお願いいたします。本日はどうもありがとうございました。